

管内には、公立幼稚園が2園、公立認定こども園が2園、小学校が17校、中学校が10校、高等学校が4校、特別支援学校が1校あります。

また、スポーツ団体、文化団体、女性団体等の社会教育団体も多数あります。伝統的な祭りや伝統芸能も多く、大人から子どもへと代々受け継がれています。

檜山教育局では、北海道が目指す教育の基本理念である「自立」と「共生」の実現に向けて、「檜山の特色を生かし、一人一人に寄り添いながら、学びを支える」を管内教育推進のテーマとし、檜山の未来を拓く人材の育成に向けて取組を展開しています。

各学校においては、個別最適な学びや協働的な学びの一体的な充実を目指した教育活動に取り組んでいます。

また、今日的な教育課題に対応した学習や体験活動の機会の充実を図る取組についても積極的に行われています。



A Iドリルを活用した個別最適な学びの充実  
(乙部町立乙部小学校)



1人1台端末を活用した道徳科の授業改善  
(厚沢部町立厚沢部小学校)



南ひやま学の成果報告会の様子  
(北海道江差高等学校)



対話とICTの活用による協働的な学びの充実  
(奥尻町立奥尻中学校)



田植え体験 (せたな町)



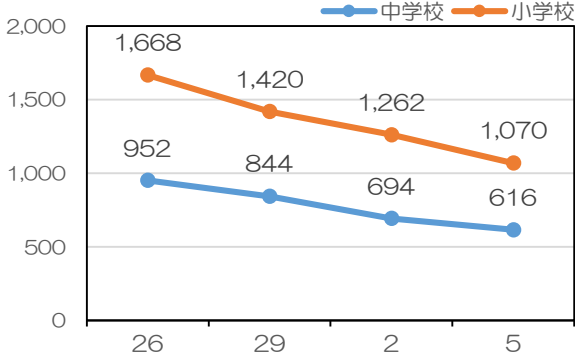
町民スポーツフェスティバル (上ノ国町)

## ●小・中学校児童生徒数の推移（単位：人・年度）

## ●国指定文化財

（令和5年12月末現在）

（令和5年5月現在）



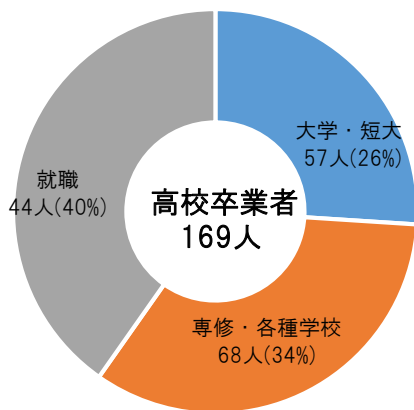
「北海道教育庁檜山教育局調べ」

名称	種別	所在地	指定年月日
ヒノキアスナロ及びアオトドマツ自生地	天然記念物	江差町	大正11.10.12
鶴川ゴヨウマツ自生北限地帯	天然記念物	厚沢部町	昭和3.2.7
旧中村家住宅	重要文化財	江差町	昭和46.12.28
北海道美利河1遺跡出土品	重要文化財	今金町	平成3.6.21
旧笹浪家住宅	重要文化財	上ノ国町	平成4.1.21 平成30.12.25
上ノ国寺本堂	重要文化財	上ノ国町	平成5.4.20
北海道上ノ国勝山館跡出土品	重要文化財	上ノ国町	平成20.7.10
ピリカ遺跡	史跡	今金町	平成6.4.26
松前氏城跡、福山城跡、館城跡	史跡	松前町 厚沢部町	平成14.9.20
上ノ国館跡（花沢館跡、洲崎館跡、勝山館跡）	史跡	上ノ国町	平成18.3.31
松前神楽	無形民俗文化財	せたな町 今金町	平成30.3.8
計 11件			

## ●主な郷土芸能

（令和5年12月末現在）

## ●高校卒業後の進路状況（令和5年3月現在）



「北海道教育庁檜山教育局調べ」

町名	郷土芸能名	町名	郷土芸能名
江差町	江差沖揚音頭	上ノ国町	大留鹿子舞
	江差鮫踊り		滝沢豊漁太鼓
	五勝手鹿子舞		石崎奴
	江差土場鹿子舞		上ノ国昔踊り
	江差田沢鹿子舞	厚沢部町	安野呂鹿子舞
	江差追分		当路鹿子舞
	江差追分踊り		土橋鹿子舞
	江差三下り		上俄虫鹿子舞
江差餅つき囃子	目名権現獅子舞	せたな町	久遠神楽
乙部町	豊浜三鹿鹿子舞		北海久遠太鼓
奥尻町	奥尻祈漁太鼓		松前神楽
今金町	今金狩場太鼓		二俣風神太鼓
	神丘黎明太鼓		浮島竜神太鼓
	松前神楽		三杉太鼓

## ●管内の学力平均正答率（令和5年）

## ●管内の体力合計点（令和5年）

小学生

	国語	算数
檜山	68.3	63.3
北海道	65.8	61.0
全国	67.2	62.5

小学生

	男子	女子
檜山	56.08	58.73
北海道	52.81	54.71
全国	52.59	54.28

中学生

	国語	数学	英語
檜山	70.5	49.0	42.4
北海道	69.4	49.3	43.9
全国	69.8	51.0	45.6

中学生

	男子	女子
檜山	39.40	45.13
北海道	40.00	45.06
全国	41.32	47.22

「北海道教育庁檜山教育局調べ」



## ●福祉

少子高齢化と人口減少が進行する中、保健・福祉サービスの充実を図り、高齢者・障がい者の介護や福祉、子どもを健やかに育てる環境の整備、地域と共に支え合い、誰もが安心して、いきいきと暮らすことのできる環境づくりに取り組んでいます。

## ●障がい者（児）福祉

障がい福祉施策のうち、管内の働く障がい者の賃金は、直近5か年4～5万円台で推移しており、これは全道平均の2万円台後半を大きく上回っています。

振興局では、働く障がい者を側面から支援するため、授産製品の展示・販売などを通じて働く障がい者や障がいを知ってもらうイベント「檜山しょうがいウィーク」を毎年開催しています。

## ●高齢者福祉

檜山管内の高齢化率（65歳以上の人口の割合）は、令和5年1月1日現在で43.9%と、前年同期に比べ0.7ポイント増加しており、全道の高齢化率32.8%を11.1ポイント上回っています。

振興局では、令和6年度からの第9期介護保険事業支援計画のもと、引き続き地域のニーズに応じた質の高いサービス提供体制の確保に取り組むとともに、高齢者の自立した生活につながる各町の取組を支援しています。

## ●子ども・子育て支援

振興局では、子育て世代を社会全体で支える環境づくりに取り組んでいます。

子育て支援の1つとして、管内では江差町、奥尻町、今金町、せたな町で「どさんこ・子育て特典制度」が実施されています。また、全道地域協賛施設として、管内では江差町・今金町・せたな町の3つの施設が登録されており、施設を訪れた全道の子育て世帯等への特典サービスが実施されています。

このほか、北海道の少子化の現状や、対策の必要性等を周知するため、江差町で「少子化対策パネル展」を実施しました。

## ●生活保護

管内の保護率の動向は、平成23年度までは右肩上がりでしたが、それ以降は33‰前後で推移し、平成27年の33.7‰をピークに最近では下降傾向にあり、令和5年は27.8‰と全道平均の29.4‰を下回っています。

※ パーミルとは、1,000分の1を1とする単位。

(1‰=0.1%)

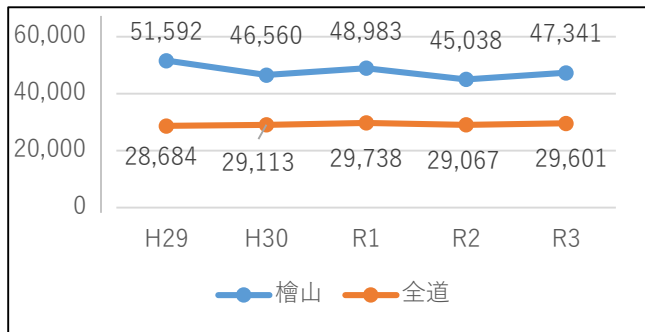


「檜山しょうがいウィーク2023」  
(檜山振興局)



「少子化対策パネル展」  
(江差町役場1階ロビー)

## ●障がい者就労支援事業所の平均賃金（単位：円）



「檜山振興局保健環境部社会福祉課調べ」

## ●高齢化の状況

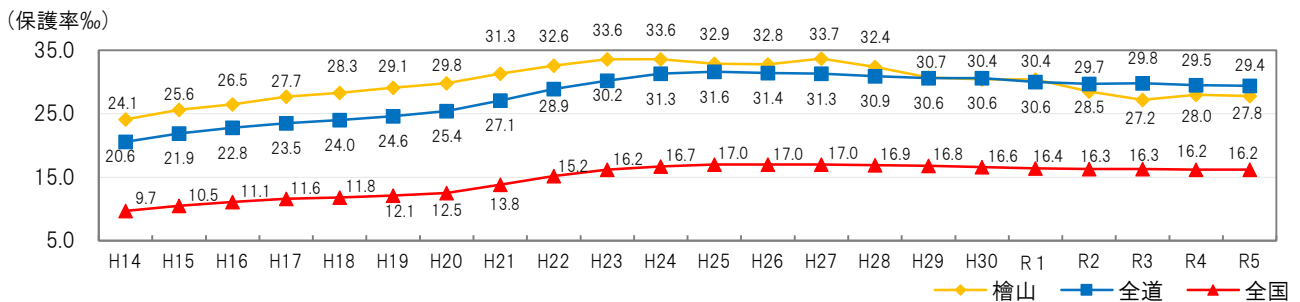
(令和5年1月1日現在)

	総人口(a)	65歳以上人口		
		人数(b)	高齢化率(b/a)	前年同期高齢化率比較
檜山	32,242人	14,150人	43.9%	+0.7%
全道	5,095,703人	1,669,002人	32.8%	+0.5%

「檜山振興局保健環境部社会福祉課調べ」

## ●生活保護の状況（推移）

※算出方法：「1ヶ月で保護した人数」÷「人口」×1,000



	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
被保護世帯数	871	899	916	903	869	876	895	927	950	964	964	941	945	962	931	880	880	845	800	760	753	743
被保護人数	1,309	1,370	1,393	1,378	1,335	1,344	1,341	1,383	1,409	1,423	1,393	1,333	1,310	1,314	1,236	1,144	1,106	1,071	993	933	913	886

「檜山振興局保健環境部社会福祉課調べ」（R5は8月速報値）

## ●社会福祉施設等設置状況

(令和6年1月1日現在)

	高齢者施設等									障害福祉サービス			児童福祉施設			計		
	老人福祉				介護保険					サービス付き高齢者向け住宅	訪問系	日中活動系	居住系	保育所	児童館		幼保連携型認定こども園	
	養護老人ホーム	軽費老人ホーム(ケアハウス)	有料老人ホーム	生活支援ハウス	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	(特別養護老人ホーム)	地域密着型介護老人福祉施設	介護老人保険施設	(認知症高齢者グループホーム)							地域包括支援センター		
江差町	1	1	1		1		1	2	1		4	11	4	3	2	1		33
上ノ国町					1			2	1		5			1	1			11
厚沢部町			1		1	2		2	1		2	1				1		11
乙部町					1			2	1		4	4	1	1				14
奥尻町				1	1				1		2	4	4					5
今金町					1		1	2	1		2	4	4				1	16
せたな町	1			2	2	1		3	1	1	5	1	2	2			1	22
計	2	1	2	3	8	3	2	13	7	1	24	21	11	7	3	4		112

「檜山振興局保健環境部社会福祉課調べ」



## ○ 保健所の所管・役割

保健所は、地域住民の健康を支える広域的・専門的・技術的な拠点としての位置づけを持つ公的機関です。檜山南部5町（江差、上ノ国、厚沢部、乙部、奥尻の各町）は江差保健所が、檜山北部2町（今金、せたなの各町）は八雲保健所が各種事業及び取組を進めています。

## ○ 健康づくり

各保健所圏域ごとの「健康づくり事業行動計画」のもと、健康寿命の延伸を目的に、高血圧・糖尿病をはじめとする生活習慣病予防・重症化予防に焦点を当て、子どもから働く世代、高齢者まで切れ目ない健康づくり対策を行っています。

## ○ 在宅医療(医療・介護連携)

在宅医療提供体制が充実し、住み慣れた地域で適切な医療や介護の支援を受けながらあずましく（心地よく）暮らすことができるよう、保健・医療・福祉に携わる多職種が「南檜山医療・介護連携推進会議」、「在宅療養を支える多職種のつどい（北渡島檜山）」を通じて、在宅療養を望む方々への思いに応える支援が提供できるような連携づくりを行っています。

## ○ 救急医療

救急医療体制については、地域センター病院である道立江差病院・八雲総合病院が二次救急に対応し、三次救急は、主に救命救急センターである市立函館病院が担っていますが、離島である奥尻島があり、搬送に救急車で2時間以上かかる地域もあることから、救命率の向上を図るため、市立函館病院を基地病院とした道南ドクターヘリが運航され、医療体制の充実が図られています。

## ○ 医療体制

檜山地域は、医療従事者の数が少なく、医療機関の数も十分ではありません。そこで、限られた医療資源を効果的に活用しながら、相互に分担や連携を進め、地域住民が必要な医療・介護サービスを受け続けられる体制の構築を目指し、令和2年9月に地域医療連携推進法人「南檜山メディカルネットワーク」を設立し、各種取組を推進しています。

## ○ 感染症対策

新型コロナウイルス感染症などの既存の感染症や、新たな感染症に対応すべく、管内医療機関・町・関係機関等と連携し、医療体制整備や感染症予防研修会などに取り組んでいます。



高血圧予防のための「減塩」教育



南檜山医療・介護連携推進会議

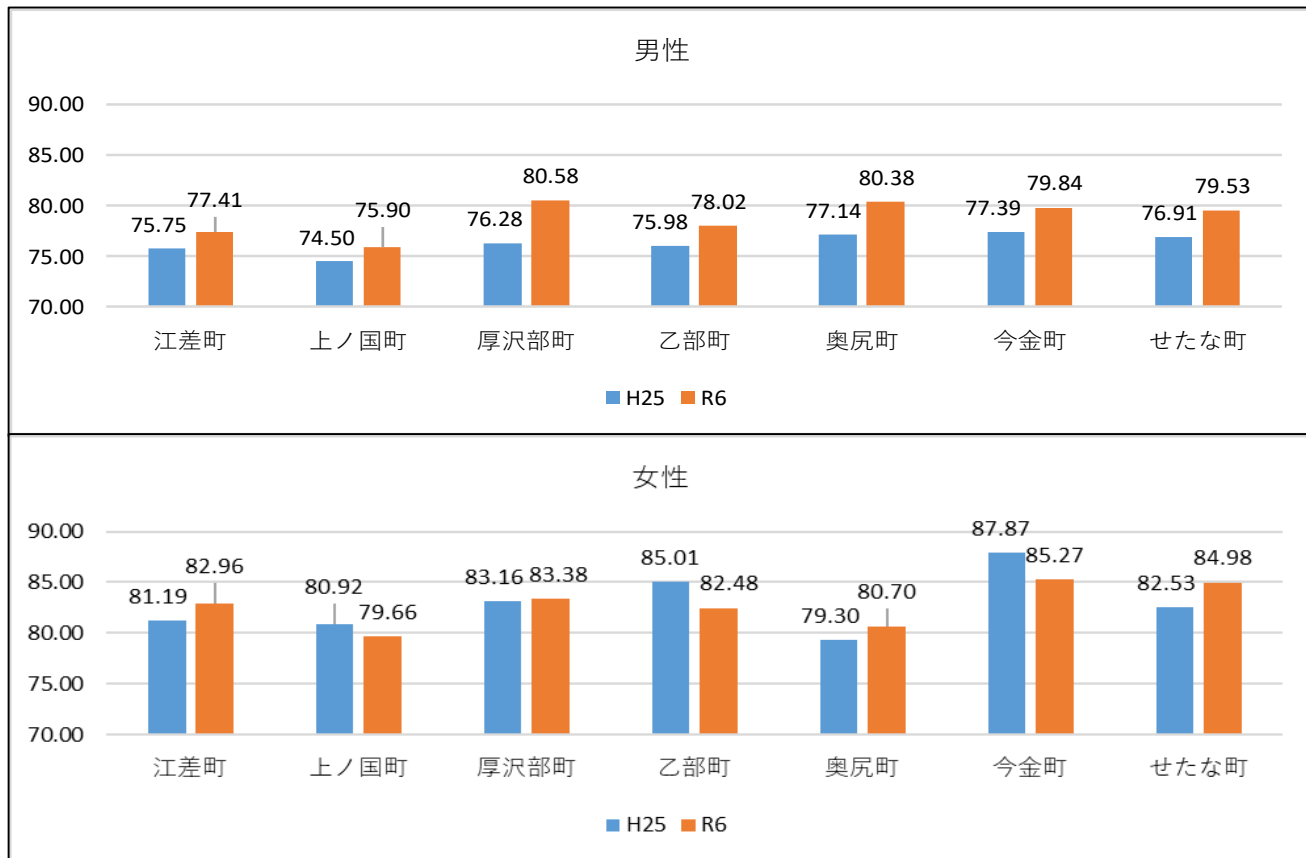


ドクターヘリ



感染症予防研修会

## 檜山の健康寿命



出典：北海道健康増進計画(平成25年版・令和6年版)

## ドクターヘリ出動件数

	江差町	上ノ国町	厚沢部町	乙部町	奥尻町	今金町	せたな町	計
令和3年度	50	11	12	10	18	23	24	148
令和4年度	40	11	10	10	14	16	27	128

出典：道南ドクターヘリ運航調整委員会 会議資料

## 保健医療施設数(令和5年12月1日現在)

	江差町	上ノ国町	厚沢部町	乙部町	奥尻町	今金町	せたな町	計
病院	2	0	1	1	1	1	2	8
診療所※	2	2	0	0	1	2	2	9
訪問看護事業所	1	0	0	1	0	1	2	5
介護老人保健施設	1	0	0	0	0	1	0	2

※一般の外来診療を行わないものを除く

「檜山振興局保健環境部保健行政室及び渡島総合振興局保健環境部八雲地域保健室調べ」

## ● 環境教育

振興局では、管内の小学生を対象に、身の回りの不要品を再利用した工作を募集・展示し、地域のリサイクル意識を高揚するため、檜山造形教育権協会と共催で、ひやまりサイクル工作コンクールを開催しています。

コンクールは、平成10年から令和5年までの間、通算26回行われ、令和5年度においては、17校217作品の応募をいただきました。

そのほか、北海道江差高等学校の環境ゼミ活動に講師として参加するなど、教育機関等と連携した環境教育を地域と一体となり進めています。

## ● きれいな水環境

管内の北部に流れる「後志利別川」は、全国一級河川水質現況において、水質が最も良好な河川として、これまでに全国最多の22回選出されており、日本屈指の清流です。

## ● 環境衛生

ごみ（一般廃棄物）の総排出量は、令和3年度で13,093tと全道の約0.7%を占め、一人一日当たりのごみ排出量は1,059gと、全道平均の941gより118g多くなっています。

ごみのリサイクル率は5.0%と、全道平均の23.5%を大きく下回っています。この背景には、ごみ排出量と再資源化の費用対効果等があると考えられます。

また、汚水処理人口普及率は、令和4年度末で75.3%と全道の96.3%を下回っています。



ひやまりサイクル工作コンクール

入賞作品展示(江差町)



五勝手地区における環境美化活動(江差町)

# 数字で見る檜山

# hiyama2024

## ●ごみ（一般廃棄物）処理の状況

区分	総人口 (人)	ごみ総排出量 (t)		一人一日 当たり 排出量 (g/人日)	ごみ処理量 (t)					中間処 理後再 生利用 (t)	リサイ クル率 (%)	
		集団回収量			直接焼却	直接 最終処分	その他	直接 資源化	合計			
全道計	5,185,414	1,781,315	108,636	941	1,078,253	120,308	443,220	32,719	1,674,500	277,715	23.5	
檜山計	R3	33,451	13,093	260	1,059	8,695	522	3,616	1t未満	12,833	542	5.0
	R2	34,102	13,403	266	1,077	8,439	1,139	3,364	1t未満	12,942	506	5.8
	R1	35,028	13,802	276	1,053	8,355	1,189	3,912	1t未満	13,456	551	6.0

(注1) その他は、中間処理後の残渣を埋立・焼却した量と中間処理により資源化した量

(注2) リサイクル率=(集団回収量+直接資源化量+中間処理後再生利用量)÷(ごみ処理量+集団回収量)

「一般廃棄物処理事業実態調査(環境省)」

## ●汚水処理人口普及率

区分	行政人口 (人)	処理人口 (人)	普及率 (%)	処理の内訳 (%)				
				公共下水道	農業集落 排水施設	漁業集落 排水施設	合併処理 浄化槽	
全道計	5,112,883	4,925,488	96.3	91.9	1.0	0.2	3.2	
檜山計	R4	32,046	24,136	75.3	51.9	6.2	5.3	11.8
	R3	32,947	24,686	74.9	51.7	6.2	5.3	11.6
	R2	33,805	25,198	74.5	51.5	6.3	5.5	11.3

「北海道建設部調べ」